

「映画のまち調布」の原点。

昭和9年日活多摩川撮影所（後に大映撮影所）が開設されました。

「映画のまち調布」の始まりです。

同じ時期、撮影所の周りに撮影所で働く人々の村が形成されていきました。

旧日活・大映村です。

現在かつてそこに生まれ育った人々が
その頃の思い出を本にして出版しようと情報を収集し、まとめて執筆するという活動中で
今年の春には本として出版される予定です。



特報です。旧日活・大映村の会の活動に端を発して、日活本社の倉庫の中で貴重な映画が発見されました。昭和9年日活多摩川撮影所開設のその年に渡辺邦男監督が初めてのトーキー映画として作った「花嫁日記」です。4月の第2回市民映画塾では日活のご協力を得てこの記念すべき第1回トーキー映画「花嫁日記」を上映することになりました。当時の日活村の様子を山根久幸氏・宮嶋真雄氏の講演をまじえてお楽しみください。

1回限りの上映会
2015年4月18日(土曜日)

14時開演 (13時30分開場)

「花嫁日記」

監督：渡辺邦男 出演：杉狂児 市川春代 星玲子

<http://choufucinemaclub.tamaliver.jp/>

詳しくは裏面へ…。ブログもご覧ください。



主催：特別非営利活動法人 調布シネマクラブ 後援：調布市

協力：調布市立図書館 日活株式会社 旧日活・大映村の会